

不可能を可能にする

The logo for NVivo 7, featuring a stylized starburst icon above the text "NVIVO7".

**NVIVO7**

## 開始しますか

**NVivo** でプロジェクトをはじめましょう

このガイドでは NVivo 7 のインストールと基本的な操作方法を説明しています。

The logo for QSR International, consisting of a stylized 'Q' icon above the text "QSR International".

**QSR**  
International

## 目次

<b>NVivo</b> とは .....	4
インストール .....	5
ハードおよびソフトウェア動作環境 .....	5
<b>NVivo</b> をインストール .....	5
<b>NVivo</b> をアクティベート .....	7
インターネット経由 .....	7
<b>QSR</b> にコンタクト .....	7
<b>NVivo</b> を削除 .....	8
<b>NVivo</b> ワークスペース .....	9
ナビゲーション表示 .....	10
プロジェクトのコンポーネント .....	10
リスト表示 .....	12
詳細表示 .....	13
ツールバーを使用する .....	14
ツールバーをカスタマイズ .....	14
メニューを使用する .....	14
ヘルプを使用する .....	15
ヘルプ - ソフトウェアの使用法 .....	16
ヘルプ - データを処理する .....	17
<b>NVivo</b> の基礎 .....	18
プロジェクトを作成 .....	18
以前のバージョンのプロジェクトをアップグレード .....	19
プロジェクトをインポート .....	20
ソースマテリアルを収集 .....	20
ドキュメントをインポート .....	20
外部ソースを作成 .....	22
メモを作成 .....	23
ツリーノードを作成 .....	24
ケースと属性を作成 .....	26
属性を追加 .....	26
ケースを追加 .....	27
簡単なコード化 .....	27
既存のノードでコード化 .....	28
新規ノードでコード化 .....	29
コード化ストライプを表示 .....	30
ノードを探求 .....	30
基本的な操作 .....	32
プロジェクトアイテムを検索 .....	32
クエリを使ってデータを検索 .....	32
モデルを作成 .....	33
レポート .....	34
サンプルプロジェクトについて .....	36

## NVivo とは

**NVivo** へようこそ。このガイドではアプリケーションのインストールおよび基本的な操作について説明します。

**NVivo** の使用法の詳細については以下を参照ください。

リソース	説明
<b>NVivo</b> オンラインヘルプ	ヘルプメニューで <b>NVivo</b> ヘルプをクリックして <b>NVivo</b> の使用法の詳細を見ることができます。 ヘルプは二つのパートで構成されています。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• ステップを追ってアプリケーションの使用法を説明。</li> <li>• プロジェクトを最大限に活かすコンセプトや戦略を得ることができるデータの処理方法。</li> </ul>
<b>NVivo</b> チュートリアル	ヘルプメニューで <b>NVivo</b> チュートリアルをクリックしてプロジェクトの作成と設定方法をアニメーションで見ることができます。  注意: チュートリアルを実行するには Adobe Flash プレーヤーが必要です。インストールされていない場合は Adobe のウェブサイト <a href="http://www.adobe.com/jp/">http://www.adobe.com/jp/</a> からダウンロードしてください。
QSR ウェブサイト および QSR Forum	QSR ウェブサイト ( <a href="http://www.qsrinternational.com">www.qsrinternational.com</a> ): <ul style="list-style-type: none"> <li>• よくある質問 (FAQ)</li> <li>• 製品ツアー</li> <li>• 最新の製品情報</li> </ul> QSR フォーラム ( <a href="http://forums.qsrinternational.com/">http://forums.qsrinternational.com/</a> ) でも <b>NVivo</b> を使用するにあたり有用な情報を得ることができます。

## インストール

**NVivo** のインストールは、画面を選択しながら簡単に進めることができます。インストールの前に、ご使用するコンピュータが以下に示すハードウェアおよびソフトウェア環境を満たしているかをご確認ください。なお、ライセンスキーを入力する必要がありますが、キーを取得するには、**NVivo** の CD ジャケットに記載された番号をご確認いただくか、製品をダウンロードで入手した場合は、QSR 社から受信した Email の内容をご確認ください。

### ハードウェアおよびソフトウェアの動作環境

**NVivo** のインストールと実行には、以下の要件を満たす必要があります。

コンポーネント	最小構成	推奨
プロセッサ	1GHz Pentium III 互換またはそれ以上	1.6GHz Pentium III 互換品か、それ以上
RAM	256MB 以上	512MB 以上
画面	800 x 600 以上の画面解像度	1024 x 768 以上
OS	Windows 2000 Service Pack 4 以降	Windows XP Service Pack 2 以降*
ハードディスク	約 700MB の空き容量	約 1GB のハードディスク 空き容量
その他		インターネット接続環境

\***NVivo 7** は Windows Vista アプリケーション互換要件を満たしています。**NVivo 7** は 32 bit Microsoft Windows Vista 上で動作します。

英語以外の言語を取り扱う場合は、使用する言語があらかじめコンピュータにインストールされている必要があります。詳細は Microsoft Windows のオンラインヘルプをご確認ください。

### **NVivo** をインストール

**NVivo** をインストールするには:

- 1 **NVivo** CD を CD ドライブに挿入します。インストールが自動的に開始しない場合は、ファイルをダブルクリックします。  
または  
**NVivo** をダウンロードで入手した場合は、**NVivo 7.exe** ファイルをダブルクリックしてください。InstallShield Wizard が現れ、**NVivo** のインストールに先立ち必要なコンポーネントのリストが表示されます。
- 2 OK をクリックしコンポーネントをインストールします。  
コンポーネントのインストールが終了すると **NVivo** ウィンドウが表示されます。

- 3 次へボタンをクリックします。  
**License Agreement** が表示されます。内容を確認し、同意する場合は「使用許諾契約の項目に同意します。」をクリックします。
- 4 次へボタンをクリックします。  
ユーザー登録ウィンドウが表示されます。
- 5 ライセンスキーを入力します。**NVivo** の CD ジャケットに記載されています。製品をダウンロードした場合は、QSR 社より送られた Email の内容をご確認ください。
- 6 次へボタンをクリックします。  
セットアップタイプウィンドウが表示されます。
- 7 完全インストールオプションを選択します。大部分のユーザーにはこれを推奨します。
- 8 デフォルトのインストール先から変更する場合は変更ボタンをクリックします。通常は Program Files の下にインストールされます。
- 9 次へボタンをクリックします。  
プログラムフォルダ選択ウィンドウが表示されます。
- 10 デフォルトではプログラムフォルダが作成されすべての **NVivo** アイコンが格納されます。他のフォルダに格納するには別のフォルダ名を入力します。
- 11 次へボタンをクリックします。  
デスクトップショートカットウィンドウが表示されます。  
選択されたアイテムはアイコンとしてデスクトップに現れます。アイコンが不要であればチェックボックスを外します。
- 12 次へボタンをクリックします。インストールの準備ウィンドウが表示されます。
- 13 現在の設定リストで設定を確認します。設定を変更するには戻るボタンをクリックします。インストールを続行するにはインストールボタンをクリックします。
- 14 ファイルのコピーが終了すると、Installshield Wizard 完了画面が表示されます。  
デフォルトでは Readme ファイルを表示するオプションが選択されています。Readme ファイルには **NVivo** に関する一般情報とアップグレードに関する情報が記載されています。ファイルを開く必要がなければチェックボックスをクリックします。
- 15 完了ボタンをクリックします。  
**NVivo** を起動するにはデスクトップ上の QSR **NVivo 7** アイコンをダブルクリックします。

注意: **NVivo 7** のインストールとアクティベーションを複数のコンピュータで実行したいシステム管理者の方は、MSI コマンドライン技術を使って「サイレントインストール」を実行することができます。詳しくは **NVivo 7 Administrator's Guide** を参照ください。QSR 社のウェブサイト ([www.qsrinternational.com](http://www.qsrinternational.com)) からダウンロードすることができます。

## NVivo をアクティベート

**NVivo** のインストールが完了しても製品をアクティベートするまでは使用できません。アクティベーションの作業自体は、ソフトウェアを使用するための有効なライセンスが使用されているか確認するだけの簡単で安全なものです。

インターネット経由、あるいは QSR にコンタクトしてライセンスをアクティベートします。

### インターネット経由でアクティベート

インターネットに接続していればオンラインでアクティベートできます。

- 1 インターネットに接続しているか確認します。
- 2 ヘルプメニューでライセンスをアクティベートをクリックします。(あるいはアクティベーションリマインダで今すぐアクティベートをクリックします)  
アクティベート画面が表示されます。
- 3 インターネット経由でアクティベートをクリックします。
- 4 登録情報を入力します。アスタリスクが付いた個所は必須項目です。
- 5 アクティベートをクリックします。これで完了です。

### QSR にコンタクトしてアクティベート

インターネットに接続できない場合は以下の方法でアクティベートします。

- QSR にアクティベーションを申請する。
- QSR より送られるアクティベーションキーを入力する。

### アクティベーション申請方法

- 1 ヘルプメニューでライセンスをアクティベートをクリックします。(あるいはアクティベーションリマインダで今すぐアクティベートをクリックします)  
アクティベート画面が表示されます。
- 2 Mail/Fax または電話でアクティベートをクリックします。
- 3 登録情報を入力します。アスタリスクが付いた個所は必須項目です。
- 4 生成ボタンをクリックしインストールキーを入手します。これを登録情報とともに QSR に送ります。
- 5 印刷ボタンをクリックして **Activation Request** フォームを入手します。
- 6 フォームに記載された内容に従って QSR にコンタクトします。

QSR から届いたアクティベーションキーを入力する

- 1 ヘルプメニューでライセンスをアクティベートをクリックします。  
アクティベート画面が表示されます。
- 2 アクティベーションキーフィールドで QSR から届いたアクティベーションキーを入力します。
- 3 アクティベートボタンをクリックします。

## NVivo を削除

NVivo を削除するには：

- 1 Windows のスタートメニューからコントロールパネルをクリックします。  
コントロールパネルが表示されます。
- 2 プログラムの追加と削除をクリックします。
- 3 現在インストールされているソフトウェアのリストから QSR **NVivo 7** を選択します。
- 4 変更 / 削除ボタンをクリックします。  
**InstallShield Wizard** が表示されます。
- 5 削除オプションを選択します。
- 6 次へボタンをクリックします。  
**NVivo** の削除を確認されます。
- 7 OK をクリックします。  
**NVivo** ファイルが削除されます。

注意：NVivo は、動作に他の多くのコンポーネントを使用するため、インストール時にそれらが存在しなければ、NVivo はそれらをインストールするよう促しますが、NVivo をアンインストールするときは、他のコンポーネントはアンインストールされません。これらはコントロールパネルからアクセスするプログラムの追加と削除機能を利用して個別に削除します。コンポーネントは他のプログラムで利用されていないことを確認したうえで削除してください。削除できるコンポーネントは以下の順序です：

- Crystal Reports for .NET Framework 2.0
- Microsoft SQL Server 2005
- Microsoft .NET Framework 2.0

## NVivo ワークスペース

研究プロジェクトを構成するすべてのアイテムは、NVivo のワークスペースから容易にアクセスできます。

ワークスペースは作業しやすいようにカスタマイズすることができます。詳しくはオンラインヘルプの説明をご覧ください。

ワークスペースは以下のコンポーネントで構成されています。：



NVivo では以下の 3 つのビューに分類されたプロジェクトアイテムを使って作業します。

- ナビゲーション表示
- リスト表示
- 詳細表示

メニューとツールバーのボタンは「文脈依存」で開発されており、作業状況に応じて利用できるアイテムが変更されます。

## ナビゲーション表示

ナビゲーション表示は、すべてのプロジェクトアイテムを整理し、整理されたアイテムにアクセスする場所です：



### プロジェクトのコンポーネント

ナビゲーション表示は **NVivo** のプロジェクトに含まれるすべてのコンポーネントにアクセスできます。

コンポーネント	説明
ソース	<b>NVivo</b> で使う「ソース」とは研究やプロジェクトで利用する資料の総称です。インタビュー記録からビデオまであらゆる情報が含まれます。ソースは以下のタイプに分類されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>ドキュメント：フィールドノートや筆記録、インタビュー、文献レビューあるいはプロジェクトに関連するあらゆる資料です。インポートする、あるいは <b>NVivo</b> 内部で作成することができます。</li> </ul>

コンポーネント	説明
ソース	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部ソース：新聞記事、書籍、ビデオテープ、オーディオテープなど <b>NVivo</b> に直接インポートできない資料をあらわすソースの「プロキシ（代理）」です。外部ソースには資料に関する注釈やサマリーを書き込むことができます。外部ソースが PC 上にあるファイルであれば、リンクを付け、開くことができます。</li> <li>メモ：見解や所見を記録します。メモが特定のプロジェクトアイテムに関連している場合、それらをメモリンクでつなぐことができます。</li> </ul>
ノード	<p>ソースに「コード」を付けトピックごとに材料をまとめる事ができます。たとえばコミュニティという概念に関するすべてのコンテンツをまとめる事ができます。この材料へのリファレンスの保存場所を「ノード」と呼びます。 <b>NVivo</b> には以下のタイプのノードがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>フリーノード：他のノードと明確な論理的つながりのない「独立した」ノードです。階層構造には不向きなものをここに置きます。</li> <li>ツリーノード：階層構造に置かれたノードです。一般的なカテゴリを上位に（親ノード）、特定のカテゴリを下位に（子ノード）置きます。</li> <li>ケース：性別や年齢といった属性を持つ人や場所に関する材料を置くノードです。ツリーノードのようにケースも階層的に組織することができます。</li> <li>関係：二つのプロジェクトアイテム間のつながりを表すノードです。たとえば二つのケース間（Anna は Bill を愛している）や二つのノード間（貧困は健康に影響を与える）などです。</li> <li>行列：行列コード化クエリの結果として作成されるノードのコレクションです。行列からノードを開き調査することはできますがここでコードすることはできません。</li> </ul>
集合	異なるタイプのプロジェクトアイテムを様々な方法でグループ化します。たとえば特定のチームメンバーに関するドキュメント、メモ、ノードの集合を作成することができます。
クエリ	データに問いかけ、パターンを検出し、アイデアを追及することができます。クエリを保存し、新しいデータに対し再実行し、結果の変化を追うことができます。
モデル	プロジェクトについての初期アイデアを描画したり、出現パターンや結合関係を確認できます。「静的」モデルを作成して、ある特定の時点におけるプロジェクトの状態をキャプチャすることができます。
リンク	<p><b>NVivo</b> では以下の方法でデータにリンクを付けることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>メモリンク：ソースやノードに対して関連するメモを添付することができます。</li> </ul>

コンポーネント	説明
リンク	<ul style="list-style-type: none"> <li>参照リンク: ソースまたはノードのコンテンツ間にポインタを置きます。</li> <li>注釈: 余白への走り書き同様、選択したコンテンツに対するコメントを書き込むことができます。</li> </ul>
分類	<p><b>NVivo</b> では以下の分類ができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>性別や年齢、場所といった属性を設定しケースを分類。</li> <li>愛、影響、雇用、結婚などの関係タイプを設定し関係を分類。</li> </ul>

## リスト表示

ナビゲーション表示でフォルダを選択すると、リスト表示にその内容が表示されます。ここで新規アイテムを追加したり、既存のアイテムを開いたり、アイテムのプロパティを編集することができます。

名前	ノード	基準	作成日	更新日
Bernadette	0	0	18/07/2007 11:51 AM	18/07/2007 11:51 AM
Fredic	0	0	18/07/2007 11:51 AM	18/07/2007 11:51 AM
Grace	0	0	18/07/2007 11:51 AM	18/07/2007 11:51 AM
Ken	59	71	16/02/2006 11:22 AM	16/05/2007 10:03 AM
Mary	90	133	16/02/2006 11:22 AM	23/02/2006 6:22 PM
Nick	49	62	16/02/2006 11:22 AM	23/02/2006 6:23 PM
Phoebe	62	90	16/02/2006 11:22 AM	23/02/2006 6:23 PM
Sunil	50	63	16/02/2006 11:22 AM	23/02/2006 6:23 PM

## 詳細表示

リスト表示でアイテムを開くと詳細表示に表示されます。以下は詳細表示でドキュメントを開いた例です。

詳細表示では以下のことができます。

- ノードを開き集められたコンテンツを見ることができます。必要であればノードからコードすることも可能です。
- ノードでコードされたそれぞれのソースをリストしたノードサマリを表示します。
- クエリの結果を表示します。
- ワークスペースからドック解除し別ウィンドウで開きます。

これらのタスクの実行に関する詳細はオンラインヘルプを参照ください。

## ツールバーを使用

頻繁に使う機能に素早くアクセスできるように NVivo にはツールバーが用意されています。ポタンの上にマウスを置くと機能の簡単な説明が表示されます。

メインツールバーからファイルの保存、印刷、切り取り、コピーペースト、元に戻すなど一般的なタスクを実行できます。



編集ツールバーを使ってテキストのフォーマット変更やモデルコンテンツの編集が可能です。



コード化ツールバーで選択したコンテンツのコード化、非コード化ができます。



表示ツールバーでプロジェクトアイテムの表示法を設定できます。



リンクツールバーから参照リンク、注釈、メモを利用できます。



グリッドツールバーから行列やプロジェクトケースブックを利用できます。



## ツールバーをカスタマイズ

作業をしやすいようにツールバーを変更、移動することができます。

ハンドルをクリックしドラッグしてツールバーを移動します



ドロップダウンアローをクリックしてツールバーボタンを追加または削除します

## メニューを使用

アプリケーションウィンドウの最上部にあるメインメニューには、NVivo のすべての機能が格納されています。メニューで利用できる機能はアイテムやビューの作業状況に応じて変化します。例えば、コード付けを行なおうとしてドキュメントをクリックすると、コードメニューの機能が利用できるようになります。

マウスを右クリックして表示されるコンテキストメニューも使用することができます。たとえばドキュメントの選択部分を右クリックして集合に追加することができます。

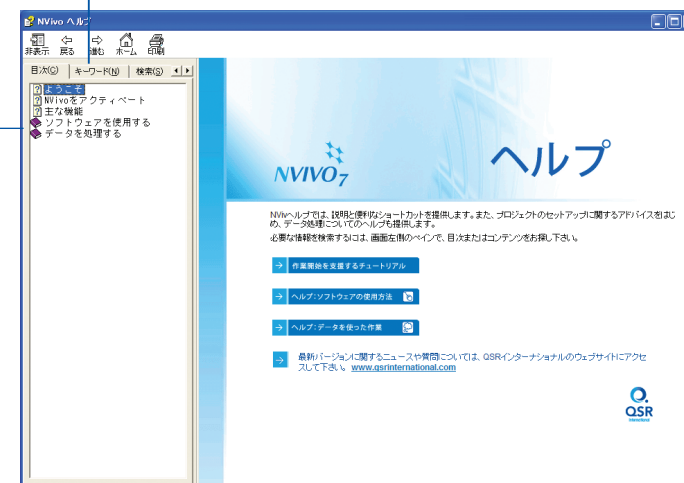


選択したドキュメントを右クリックし集合に追加オプションをクリックします。大部分の頻繁に使うタスクはショートカットキーで使用できます。メニューオプションの右に表示されます。

## ヘルプを使用

このガイドでは NVivo を起動するまでの手順と NVivo のプロジェクトを使った利用法が記載されていますが、ソフトウェアの使用とオリジナルデータを使った作業に関するより詳細な情報については、NVivo のオンライン・ヘルプを参照してください。NVivo のヘルプメニューにあるヘルプオプションをクリックすると、ヘルプにアクセスできます。

タブを使ってインデックス、検索機能、用語集にアクセスできます。



ヘルプはソフトウェアの使用法とデータを使った作業の二つに分けられています。

本のアイコンをダブルクリックして下位のトピックを表示します

## ヘルプ - ソフトウェアの使用法

ヘルプトピックにはステップごとのインストラクションとアプリケーションを使いこなすために必要な情報が掲載されています。

このアイコンはソフトウェアの使用法に関するヘルプトピックであることを示します

これらのトピックは NVivo 専門用語を紹介しタスクを実行するためのステップごとのインストラクションを提供します

クリックしてタスクを実行するための別の方法を参照することができます

ドロップダウンメニューをクリックして詳細な情報を見ることができます

ボタンをクリックして関連するコンセプトやインストラクションを見ることができます

## ヘルプ - データを使った作業

このヘルプトピックにはデータを取り扱う上で役立つコンセプトや戦略が記載されています。基礎的な使用法からプロジェクトの評価法まで網羅されています。

ソフトウェアの使用法とは別の色が使用されていますので現在どちらのタイプの情報を見ているか簡単に見分けることができます。

このアイコンはデータを使った作業方法に関するヘルプトピックであることを示しています

これらのトピックはデータを取り扱う際のコンセプト、ヒント、戦略や例を紹介しています

ボタンをクリックして関連する操作法やコンセプトを見ることができます

## NVivo の基礎

NVivo プロジェクトの取扱いは簡単です。このガイドでは、以下の基本的操作を順を追って紹介いたします。

- プロジェクトを作成
- ソースを収集
- ノードを作成
- 簡単なコード化

これら基本的な操作を習得することで、以下のような他の機能を活用することができます。

- 参照リンクと注釈テキストを作成
- データのパターンを検出するためにクエリを実行
- データの関連を視覚化するためにモデルを作成
- レポートを作成

これらの機能に関する詳細な情報は、**NVivo** オンラインヘルプに記載されています。

### プロジェクトを作成

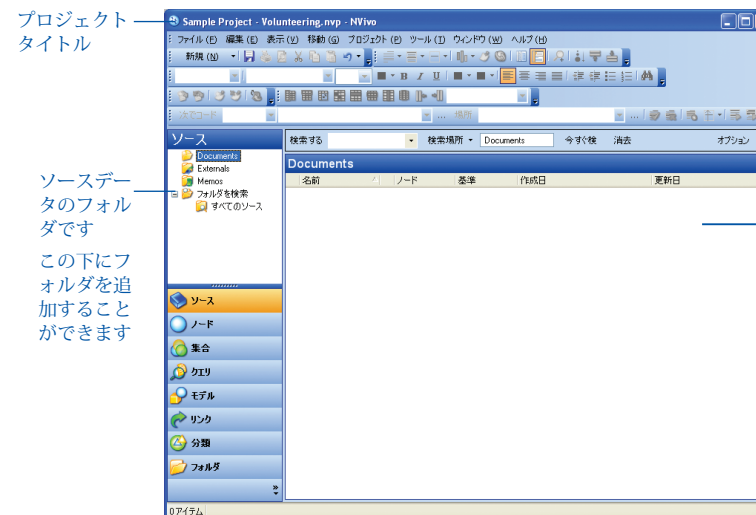
プロジェクトを保存すると、データは .nvp ファイルとしてコンピュータに格納されます。プロジェクト・データはすべて単一のファイルとして保存されるため、ファイルを別の場所にコピーするだけでバックアップも容易にできます。

新規プロジェクトを作成するには、

- 1 デスクトップの QSR **NVivo 7** アイコンをクリックしアプリケーションを開きます。
- 2 よこそ画面で新規プロジェクト画面をクリックします。  
新規プロジェクトダイアログが表示されます。
- 3 タイトルフィールドで名前を入力します。

**注意:** プロジェクトタイトルはプロジェクトファイル名と同じではありません。プロジェクトを最初に保存する際、最初に何らかのタイトルを付けたとしても後で変更することができますが、ファイル名がこの変更の影響を受けることはありません。

- 4 必要であれば説明フィールドでプロジェクトの説明を入力します。たとえば研究プロジェクトの目標に関する説明を記述します。
- 5 プロジェクトの保存場所を変更するには参照ボタンをクリックします。
- 6 OK をクリックします。  
**NVivo** ウィンドウが表示されます。タイトルバーにプロジェクト名が表示されます。



### 以前のバージョンのプロジェクトをアップグレード

**NVivo** のこのバージョンでは **NVivo 1**, **NVivo 2**, **N4**, **N5**, **N6** で作成されたプロジェクトを開くことができます。現行バージョンの **NVivo** で開くだけで最新の形式にアップグレードできます。

- 1 ファイルメニューでプロジェクトを開くをクリックします。  
プロジェクトを開くダイアログが表示されます。
- 2 ファイルの種類ドロップダウンリスト (ダイアログボックスの一番下にあります) で開きたいプロジェクトの場所を指定します。以下のプロジェクトを開くことができます。
  - **NVivo 7** (.nvp)
  - **NVivo 1 2** (.qda)
  - **N4, N5, N6** (N6 Student を含む) (.stp)
- 3 場所ドロップダウンリストを使って開きたいプロジェクトが保存されているドライブ、フォルダを指定します。
- 4 目的のプロジェクトファイルをクリックします。
- 5 開くボタンをクリックします。プロジェクトを変換ダイアログが表示されます。
- 6 参照ボタンをクリックします。
- 7 ドロップダウンリストの保存を使って新たに作成するプロジェクトを保存するフォルダをクリックします。
- 8 ファイル名フィールドで変換したプロジェクトの名前を入力します。

- 9 保存をクリックします。
- 10 目的のインポートオプションを設定します。オプションの詳細は NVivo オンラインヘルプを参照ください。
- 11 必要であればユーザー名やパスワードを入力します。
- 12 変換ボタンをクリックします。

### プロジェクトをインポート

プロジェクトを別のプロジェクトにインポートすることで複数のプロジェクトをひとつにまとめることができます。共同で作業をおこなうときや、既存のプロジェクト構造を利用して新規プロジェクトを作成したいときに便利です。

プロジェクトのインポートの詳細についてはオンラインヘルプを参照ください。

### ソースマテリアルを収集

**NVivo** で使う「ソース」とは、研究で取り扱う資料の総称です。手書きの日記からインタビュー記録まであらゆるものが含まれます。プロジェクトの作成が完了したら、以下の方法で研究データを取りまとめることができます：

- テキスト (.txt)、リッチテキスト (.rtf)、Word (.doc) 形式のドキュメントをインポートします。インポートするドキュメントの内容はインタビュー記録、Email、文献レビューなど様々あるでしょう。NVivo をつかってドキュメントを直接作成することも可能です。詳しい説明はオンラインヘルプをご覧ください。
- オーディオまたはビデオファイル、手書きの日記、書籍、新聞記事など NVivo にインポートできないファイルについては「外部ソース」としてファイルのリンクを作成できます。
- 考えや所見を書き留めておくためのメモを作成、インポートできます。例えばプロジェクトの進行状況に関する内容を書いておくためにプロジェクト日誌やログをメモとして作成できます。

### ドキュメントをインポート

ドキュメントは好きなきときにインポートできます。必要ならフォルダに整理することができます。フォルダの使用に関する詳しい説明はオンラインヘルプをご覧ください。

ソースドキュメントをインポートするには、

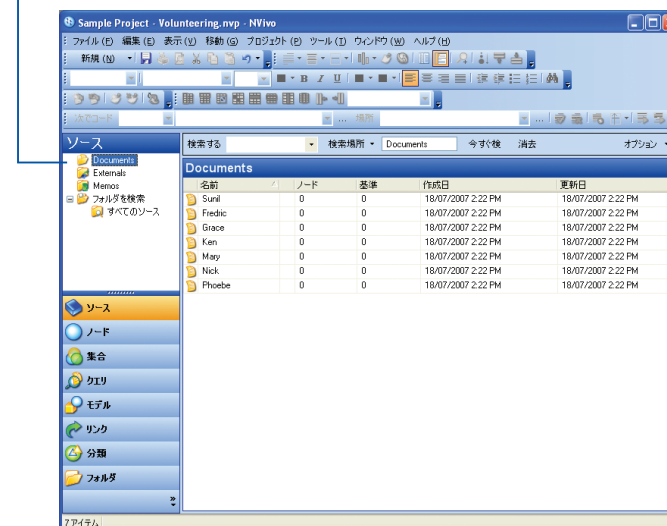
- 1 ドキュメントフォルダをクリックします。
- 2 プロジェクトメニューでドキュメントをインポートをクリックします。ドキュメントをインポートダイアログが表示されます。
- 3 インポート元フィールドで参照ボタンをクリックします。
- 4 インポートするドキュメントを指定します。CTRL キーを押しながら複数のファイルを、あるいは SHIFT キーを押しながら連続するファイルを選択できます。
- 5 開くボタンをクリックします。選択したファイルがインポート元フィールドに表示されます。

- 6 目的のオプションを選択します。

オプション	説明
テキストスタイルを更新	ソースのテキストのスタイルをプロジェクトプロパティで設定されたスタイルに更新します。
説明を作成	インポートするドキュメントの最初の段落を使ってドキュメントの説明を作成します。選択したドキュメントの説明文を確認するには、プロジェクトメニューのドキュメントプロパティをクリックします。
次の新規ケースでソースをコード	このオプションをクリックするとドキュメントごとのケースが自動的に作成されます。個別の被験者ごとに関連するドキュメントが存在し、被験者別のケースを作成したい場合に便利です。インポート時にケースを作成しなくとも、後からいつでも作成できます。ケースの使用に関する詳しい説明はオンラインヘルプをご覧ください。
書き込み不可で作成	このオプションをクリックするとドキュメントをリード・オンリーでインポートできます。リード・オンリーで読み込むと、ドキュメントに対して注釈やリンクを付けることはできませんが、テキストそのものを編集することはできません。

- 7 OK をクリックします。リスト表示にインポートしたドキュメントが表示されます。

インタビューフォルダを作成しそこにドキュメントをドラッグできます。



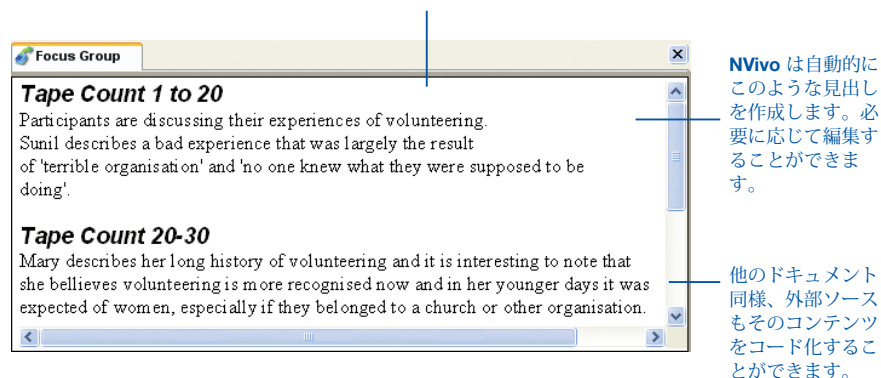
インポートされたドキュメントがリスト表示に表示されます

まだコード化が行われていないためノードおよびリファレンスは 0 です

## 外部ソースを作成

NVivo にインポートできないデータは「外部ソース」として作成することができます。外部ソースでは要約や所見を入力することができます。以下はフォーカスグループの音声記録を外部ソース化した例です。

要約された内容に基づいてオーディオファイルを開き再生することができます。プロジェクト→外部ソースファイルを開くをクリックします。



外部ソースを作成するには：

- 1 外部ソースフォルダをクリックします。
- 2 新規ツールバーボタンをクリックします。
- 3 このフォルダの外部ソースオプションをクリックします。新規外部ソースダイアログが表示されます。
- 4 外部ソースの名前と説明を入力します。
- 5 外部ソースタブをクリックします。
- 6 タイプドロップダウンリストでアイテムに最適なオプションを選択します。

オプション	説明
ファイルリンク	実行可能なファイルとしてアイテムが保存されます。たとえばビデオ、音声、画像ファイルなどです。このオプションを選択するとファイルへのリンクが設定されます。ファイルパスフィールドで参照ボタンをクリックしファイルの位置を指定します。
ウェブリンク	アイテムがウェブページの場合はこれを使用します。URL パスフィールドにウェブアドレスを入力して活きたリンクを作成することができます。

- 7 プリフォーマットの見出しを持つ外部ソースを作成するには
  - a コンテンツドロップダウンリストで外部ソースに適したオプションを選択します。
  - b ユニットドロップダウンリストで外部ソースが分割されるユニットを選択します。章 1、章 2 といった見出しになります。
  - c 開始と終了値を入力します。たとえば 1 から 20 など。
- 8 OK をクリックします。

外部ソースが作成され要約や所見を入力する準備ができました。ドキュメントから外部ソースファイルへの参照リンクを作成することができます。たとえばドキュメントを参照しながら関連したウェブサイトや音声ファイルを開くことができます。詳細はオンラインヘルプを参照ください。

## メモを作成

ドキュメントと同様の方法でメモをインポートし、作成することができます。メモフォルダに格納される点だけが異なります。メモはプロジェクト全体に関わるもの、あるいは特定のプロジェクトアイテムに関するものです。たとえばインタビューの文脈に関するメモを作成することができます。

ソースで作業中にリンクされたメモを作成するには：

- 1 リンクメニューでメモリンクをクリックします。
- 2 新規メモへリンクオプションを選択します。新規メモダイアログが表示されます。
- 3 名前と説明を入力します。
- 4 OK をクリックします。

メモが詳細表示で開かれ目的のコンテンツを追加することができます。



メモはメモフォルダに格納されます  
このアイコンはドキュメントにメモがリンクされていることを示します

必要に応じてメモのコンテンツを入力、フォーマットします

メモフォルダにメモを直接追加、インポートすることができます。関連したドキュメントやノードにリンクすることも可能です。メモリンクを確認し管理するにはナビゲーション表示でリンクボタンをクリックします。詳細はオンラインヘルプを参照ください。

### ツリーノードを作成

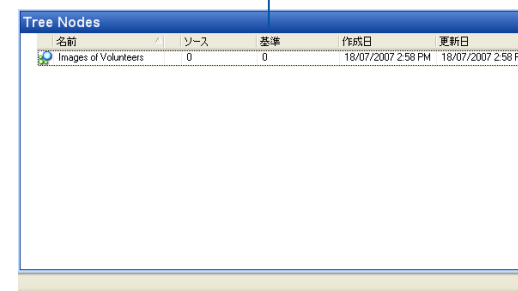
探求したいテーマがすでに決まっている場合はすぐにノードを作成することができます。用意されたテーマがない場合はソースの中身を調べテーマが現れる度にノードを作成します。このガイドの「新規ノードでコード」を参照ください。

このガイドではシンプルなノード構造の作成方法について説明します。他のノードタイプについてはオンラインヘルプを参照ください。

ツリーノードを作成するには：

- 1 ナビゲーション表示でノードボタンをクリックします。
- 2 ツリーノードフォルダをクリックします。
- 3 メインツールバーの新規ボタンをクリックします。
- 4 このフォルダのツリーノードをクリックします。新規ツリーノードダイアログが表示されます。
- 5 ノード名を入力します。たとえばボランティアのイメージなど。
- 6 必要であれば説明フィールドに説明を入力します。
- 7 OK をクリックします。ノードがリスト表示に表示されます。

このノードではまだ何もコードされていないためソース、リファレンスは 0 です。



この新規ノードはツリーノードフォルダのルートレベルにあります（親ノードがありません）

必要であればこの下に子ノードを追加します

このノードの下に子ノードを追加するには：

- 1 親ノード、たとえばボランティアのイメージをクリックします。
- 2 メインツールバーの新規ボタンをクリックします。
- 3 このフォルダのツリーノードをクリックします。新規ツリーノードフォルダダイアログが表示されます。
- 4 名前と説明を入力します。
- 5 OK をクリックします。親ノードの下にノードが追加されます。必要に応じて上記を繰り返します。

子ノードをルートレベルに移動するにはツリーノードフォルダにドラッグします



各コラムのヘッダをクリックしてノードをソートすることができます

ノードはドラッグアンドドロップで任意の階層に移動できます

## ケースと属性を作成

ケースを作成することで、特定の被験者、場所、機関、その他の調査対象に関するすべての属性情報を集計することができます。ケースには、他のノードと異なり、性別、年齢、地域といった属性を持たせることができます。属性は、人口統計学的変数を使用してケース同士を比較できます。例えば、男性と女性、地方と都市といった比較ができます。

### 属性を追加

属性や値の追加はいつでもできますが、プロジェクトの初期段階でこれらを考慮すると良いでしょう。**NVivo** では属性テーブルやケースブックをインポートすることもできます。詳細はオンラインヘルプをご覧ください。

属性とその値を追加するには：

- 1 ナビゲーション表示で分類をボタンをクリックします。
- 2 属性フォルダをクリックします。
- 3 新規ツールバーボタンをクリックします。
- 4 このフォルダの属性オプションをクリックします。  
新規属性ダイアログが表示されます。
- 5 名前フィールドでたとえば、性別、年齢、地域など名前を入力します。
- 6 必要であれば属性の説明を説明フィールドに入力します。
- 7 タイプドロップダウンリストで属性値のフォーマットを選択します。たとえば性別 = 男性、女性といったように数字や日付でなければ文字列を選択します。
- 8 値タブをクリックします。
- 9 値タブで追加ボタンをクリックします。
- 10 値セルに、たとえば男性、女性といった値の名前を入力します。
- 11 必要であれば値の名前を入力します。
- 12 新規ケースにこの属性値がデフォルトで割り当てる場合はデフォルトチェックボックスをクリックします。
- 13 OK をクリックします。

## ケースを追加

**NVivo** はソースの情報を元に自動的にケースを作成できます。詳細はオンラインヘルプをご覧ください。

プロジェクトにケースを追加するには：

- 1 ナビゲーション表示でノードをクリックします。
- 2 ケースフォルダをクリックします。
- 3 新規ツールバーボタンをクリックします。
- 4 このフォルダのケースオプションをクリックします。  
新規ケースダイアログが表示されます。
- 5 名前フィールドで名前を入力します。
- 6 必要であればケースの説明を説明フィールドで入力します。
- 7 必要であればケースの代替名をニックネームフィールドで入力します。この名前を使ってケースでコンテンツに素早くコードできます。ニックネームを使ったコード化についてはオンラインヘルプを参照ください。
- 8 属性値タブをクリックしケースに値を割り当てます。
- 9 OK をクリックします。

## 簡単なコード化

ソースにコードを付け、トピックに関するすべての資料を取りまとめることができます。例えば、被験者がボランティアについて「older (年輩の)」と記述していたら、そのテキストに対してelderly (高齢者) とコード付けすることができます。あるノードを開くと、そこに集められたすべての参照情報を見ることができます。

**NVivo** はさらに進んだ機能を提供します：

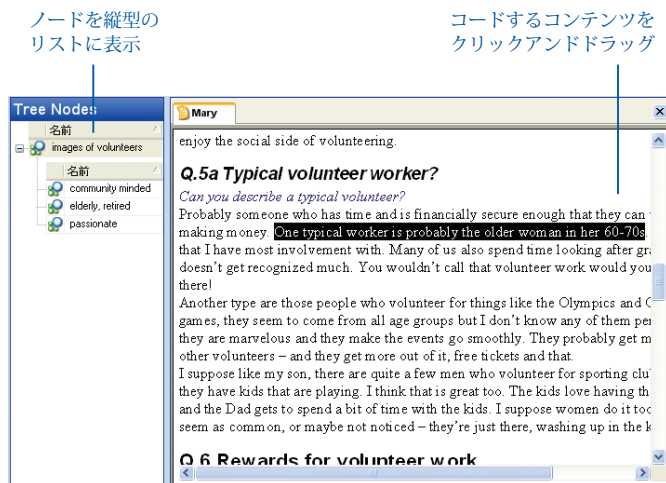
- 見出しレベルで自動コード
- 段落で自動コード
- テキスト検索でコード

詳細はオンラインヘルプを参照ください。

## 既存のノードでコード

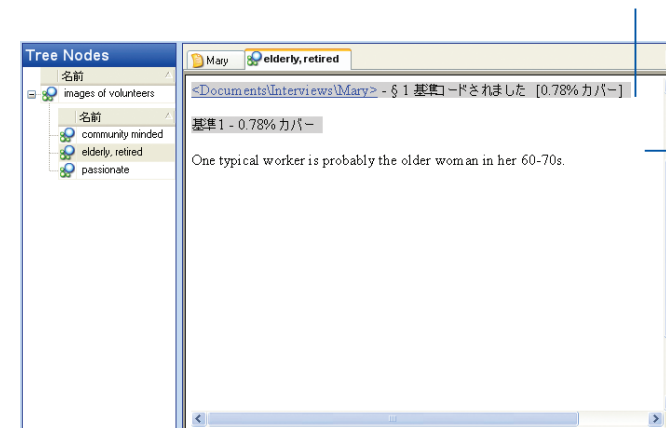
既存のノードでソースコンテンツをコードするのは非常に容易です。ドラッグアンドドロップで実行できます。:

- 1 コードするソースを開きます。詳細表示に表示されます。
- 2 目的のノードフォルダを開きノードをリスト表示に表示させます。
- 3 必要であればコードしやすいように表示を変更します。表示メニューで詳細表示 > 右をクリックします。:



- 4 コードするソースコンテンツを選択し目的のノードにドラッグします。
- 5 コンテンツがノードにコードされます。ダブルクリックしてノードを開くとコードされたコンテンツが表示されます。

ノードを開きコードされた内容を確認します。  
elderly (高齢者)、retired (退職者) でコードするたびにリファレンスがノード表示に追加されます



ノードディスプレイはカスタマイズが可能です。詳細はオンラインヘルプを参照ください

ソースの内容に対してコード化ツールバーまたはコードメニューを使用してコード化できます。詳しい操作方法についてはオンラインヘルプをご参照ください。

## 新規ノードでコード

ソースをコード化していると新しいアイデアやテーマが浮かぶことがあります。新規ノードでコードするには:

- 1 コードするソースを開き目的のコンテンツを選択します。
- 2 コード化ツールバーで次でコードドロップダウンリストから名前オプションを選択します。
- 3 次のドロップダウンリストで新規ノードの名前を入力します。
- 4 場所ドロップダウンリストからノードの場所を選択します。
- 5 コードボタンをクリックします。  
選択したコンテンツが新しく作成されたノードでコードされます。

コード化ツールバーの **NVivo** でコードボタンを選択することにより選択したテキストに基づいてフリーノードを新規に作成することも可能です。詳細はオンラインヘルプを参照ください。

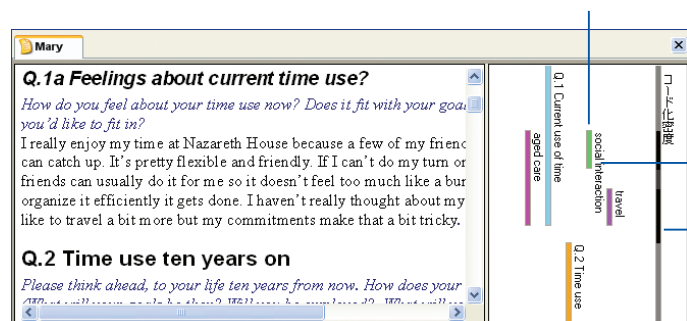
## コード化ストライプを表示

コード化ストライプを使えば、ソースにコードされたノードを表示することができます。コード化ストライプでは、最大7つのノードを表示できます。

コード化ストライプを表示するには：

- 1 目的のソースを開きます。
- 2 表示メニューでコード化ストライプをクリックします。
- 3 目的の表示オプションをクリックします。

コード化ストライプをクリックしノードでのコードを強調表示します



コード化ストライプを右クリックしノードを開き、非コード化することができます

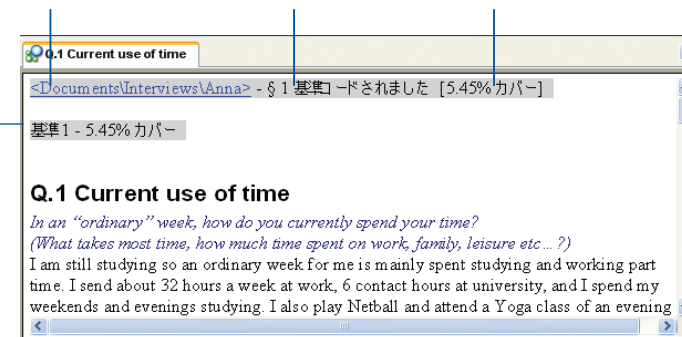
コード化密度はコード化の頻度を表します

このノードでコードされた最初のソースのフォルダと名前

ノードでドキュメントがコードされた回数

ノードでコードされたドキュメントのパーセンテージ

ノードでコードされた最初の個所とそのドキュメント全体に対するパーセンテージ



詳細表示に関する詳細はオンラインヘルプを参照ください。

ノードに集められたマテリアルを調べていると新しいアイデアやカテゴリが思い浮かぶことがあります。必要であればノードの内容をコード化し、また新規ノードを作成することができます。

## ノードを探求

ノードを開くと、ノードに基づいてコード付けされたすべての内容を確認することができます。

ノードを開くには：

- 1 ナビゲーション表示でノードボタンをクリックします。
- 2 目的のノードフォルダをクリックします。  
リスト表示にノードが表示されます。
- 3 目的のノードをダブルクリックします。  
ノードは詳細表示内に表示されます。

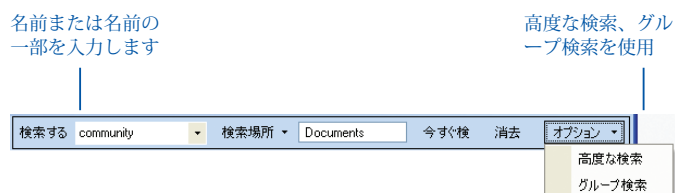
## 基本的な操作

ソース、ノード、コードについて一通り理解したら、今度はこれらを元に検索、クエリ、モデリングを行う各種ツールに目を向けてゆきましょう。このガイドでは、これらのツールの基本的な使用法を説明します。さらに詳しい操作法についてはオンラインヘルプをご参照ください。

### プロジェクトアイテムを検索

**NVivo** にはデータの検索やフィルタリングを行うためのツールが豊富に装備されています。:

- ソースのテキストの検索、置換を行うには編集メニューの検索をクリックします。
- リスト表示の最上部の検索バーを使ってプロジェクトアイテムを名前で検索します。



- 選択した基準に基づいてプロジェクトアイテムをフィルタ、たとえば女性のケースのみ検索するには中級検索を使用します。
- プロジェクトアイテムをフィルタする基準のリストを構築する、たとえば 50 歳以上の女性でボランティアに積極的な態度のケースを検索するには高度な検索を使用します。
- 選択したアイテムをリスト化しそれに関連したアイテムを検索する、たとえばソースとそれをコードしたノードを検索するにはグループ検索を使用します。

### クエリを使ってデータを探索

**NVivo** では以下のクエリを作成し保存することができます:

- テキスト検索: 指定されたテキストを含むすべてのソースを検索しリスト化します。テキストに付されたコードを検索することもできます。
- コード化: コード付けされたコンテンツを種類別に収集できます。例えば、女性の発言のうち人生の目標に関する内容をすべて調べたい場合に使います。
- 行列コード化: 検索条件に基づいてノードのマトリクスを作成します。例えば、ボランティア活動に対する姿勢を年齢群別に調べたい場合に使います。
- 頻出語: 選択されたアイテム内で使用された語のリストを作成し使用された回数を調べます。どのような語が頻繁に使用されたかを調べることでテーマやコンセプトの確認に役立ちます。
- 複合: テキストクエリとコード化クエリの組み合わせです。

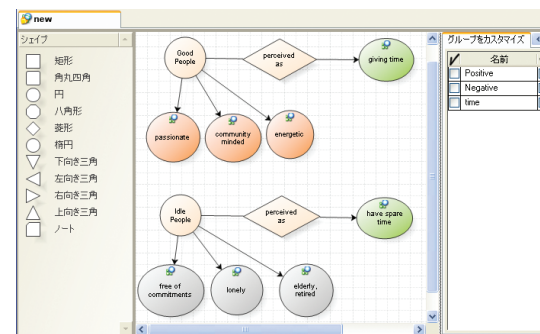
クエリを作成するには:

- 1 ナビゲーション表示でクエリボタンをクリックします。
- 2 新規ツールバーボタンをクリックします。
- 3 クエリタイプを選択します。

クエリの詳細に関してはオンラインヘルプを参照ください。オンラインヘルプのデータを使って作業するセクションではクエリを使う上でのヒント、戦略や例が記載されています。

### モデルを作成

データのつながりを図示することで、その関係を調べたり、プレゼンテーションとして利用することができます。計画の流れや仮説をスケッチするのにモデルを利用するのもよいでしょう:



モデルを追加するには:

- 1 ナビゲーション表示でモデルボタンをクリックします。
- 2 新規ツールバーボタンをクリックします。
- 3 このフォルダの動的モデルボタンをクリックします。新規モデルダイアログが表示されます。
- 4 名前フィールドで名前を入力します。
- 5 必要であれば説明フィールドで説明を入力します。
- 6 OK をクリックします。

空のモデルが詳細表示に表示されます。別ウィンドウでモデルを使用するにはウィンドウメニューでドックのチェックを外します。

モデルにシェイプを追加するには：

- 1 シェイプパネルでシェイプをクリックし目的の場所にドラッグします。
- 2 シェイプをダブルクリックし名前と説明を入力します。
- 3 プロジェクトのアイテムとシェイプを関連付けるにはシェイプを右クリックし変換→プロジェクトアイテムを選択します。

モデルの使用法の詳細はオンラインヘルプを参照ください。

## レポート

NVivo は以下のタイプのレポートを作成します。これでプロジェクトの進行を確認できます：

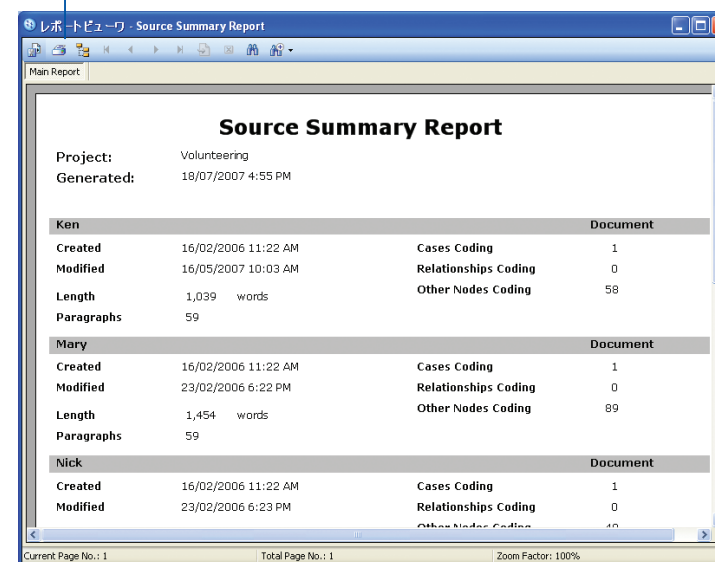
レポート	内容
プロジェクトサマリ	プロジェクトに含まれるアイテムの状態をリスト表示します。プロジェクト全体の進行状態の伝達や記録に利用できます。
ソースサマリ	プロジェクト内のソースをリスト表示します。リストにはソース内にコード付けされたノード数も含まれます。ソースドキュメントの段落数と文字数に関する情報も表示されます。
ノードサマリ	プロジェクト内のノードをリスト表示します。各ノードでコード付けされたソースの数も含まれます。テーマやアイデア別の出現頻度を比較するのに役立ちます。
関係サマリ	タイプ別に分類されたリレーションシップをリスト表示します。リレーションシップの各タイプにどれだけのコード付けがなされているかを調べることができます。
属性サマリ	属性と各属性値に割り当てられたケースの数をリスト表示します。これを使えば、プロジェクトで使う標本（サンプル）の一貫性とバランスをチェックするのに役立ちます。
コード化サマリ	ソースとそれにコード付けしたノードをリスト表示します。コード付けの進行状況をチェックするのに便利です。
コード化比較	2つのプロジェクト・アイテム間のコーディングに関する類似や相違の比較概要を数値で表示します。コード付けの一貫性をチェックするのに役立ちます。共同チームでコード付けを行うような場合これらを比較するのに便利です。

レポートを実行するには：

- 1 ツールメニューでレポートをクリックします。
- 2 目的のレポートを選択します。
- 3 レポートレイアウトのオプションを選択します。
- 4 OK をクリックします。

レポートがレポートビューワに表示されます。

これらのボタンを使って印刷、エクスポート、テキスト検索、ズームを行います



レポートの使用法に関する詳細はオンラインヘルプを参照ください。

## サンプルプロジェクトについて

**NVivo** の使用方法には、特に決まりはありません。データや研究方法によって様々なアプローチが考えられます。ただ、簡単なプロジェクトの作成例を一通り理解しておけば、以後の活用に大いに役立つでしょう。

**NVivo** Volunteering というサンプルプロジェクトが用意されています。NVivo 7 ようこそ画面からアクセスすることができます。

これは **NVivo** にインポートされたインタビューとフォーカスグループ (グループインタビュー) で構成されています。プロジェクトの開発方法について説明します。:

### プロジェクトを作成

**NVivo** で新規プロジェクトを作成し Volunteers と命名します。被験者の属性とその取りうる値、たとえば性別: 男性、女性を設定します。

### ソースをインポート

ソースの下に interviews というドキュメントフォルダを作成しインタビューの記録をここにインポートします。インポート時に **NVivo** に被験者ごとのケースを自動作成させます。それぞれの被験者がケースでコードされケースに関する情報をこのケースにコードすることができます。

### 見出しレベルで自動コード

見出しレベルで被験者を自動コードしインタビューの回答ごとのノードを作成します。ノードを開くと一箇所ですべての回答を見ることができます。

### 記録をコード

インタビューおよびフォーカスグループの記録を読んで内容を吟味します。テーマが見つかるごとにノードを作成しそこでコードします。たとえば Image of Volunteers というノードを作成し被験者のボランティア作業に関する考えを集めます。

### ノードを調査

ノードを開き集められたすべてのマテリアルを調べます。データからアイデアが浮かぶごとに新規ノードを作成しそこでコードします。

### データをフィルタシクエリを実行

高度な検索を使用してプロジェクトアイテムをフィルタします。たとえば女性のケースをすべて、あるいは「コミュニティ志向」とコードされたすべてのインタビューを検索します。

クエリツールを使ってデータに関する問いかけをします。たとえば男性がボランティアに関してコミュニティ志向であると回答したすべてのテキストを抽出します。

### つながりを発見しモデルを作成

被験者のボランティアに対する意識間の関連性を、モデルを作成し視覚化します。テーマが他の要因に影響を受ける様子を、モデル、コード、クエリ、メモを通じて探求しやすいように配置を移動します。



不可能を 可能にする



For further information, please contact:

QSR International Pty Ltd  
[info@qsrinternational.com](mailto:info@qsrinternational.com)  
[www.qsrinternational.com](http://www.qsrinternational.com)

